

# 大量に届く迷惑メールや、送信間違い メールの「困った」を手間なく解決するには?

電子メールは日々の業務に不可欠なビジネスツール。取引先とのやり取りもメールを使うことが増えているだろう。しかしその一方で、困った問題も発生している。

その一つが、毎日、山のように送られてくる業務に関係ない迷惑なメール(スパムメール)だろう。スパムメールの多くはウイルス感染や情報漏えいにつながる入口となるから、知らずに開いてURLをクリックしたりすると危険度大。また、毎日スパムメールを判別して削除する時間も業務上の「ムダ」である。

メールの「困った」は受信時の問題に加え、送る時にもある。宛先の会社名を間違えてしまったり、異なるファイルを添付してしまったり、敬称を付け忘れたり...。うっかりミスによるものでも、取



引先の信用を失い深刻な損失をもたらしかねない。

スパムメールやメールの誤送信は、経営者として見逃せない問題だ。しかしながら、解消したくてもどんなシステムを購入すれば良いのか、また費用や人材面の制約からなかなか良策が見つからないのではないだろうか。

## システムを購入しなくても 対策を任せられる

こうした「メールの困った」を解決するのが、キヤノンITソリューションズの「セキュリティASPサービス」である。本サービスは、セキュリティ対策に必要なソフトや機器類の全て

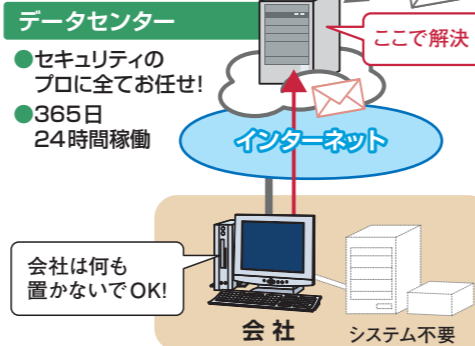
をキヤノンITソリューションズのデータセンターで管理運用する。利用側は新たにソフトやサーバーを購入する必要がなく、メンテナンスやバージョンアップもセンター側にお任せ。困ったときには契約時に無料で配布されるヘルプチケットを使い、ヘルプサービスが受けられる。月額利用料金制なので、初期費用を抑えられるメリットもある。

では、サービスラインナップの中からスパムメール対策とメールの誤送信対策を見てみよう。

## 不要なメールを判定し「保留」や「タグ付け」を実行

スパムメールへの対策は「アンチスパムASPサービス」。スパムメールのデータベースを使って、受信したメールを照合し、

## メール対策は任せるのが便利! キヤノンITソリューションズ 「セキュリティASPサービス」



「スパム」と判定されるメールを抽出。これを「スパムメール」として「保留」したり、特定のタグづけをする(利用コースによって対応範囲が異なる)。「保留」されたメールにも、もし必要なメールが含まれていても、本人が確認して通常受信に戻すことが可能だ。

## メールを一定時間保留し 再確認のチャンスを作る

メール送信時の「うっかり」への対策は、「メール誤送信対策ASPサービス」である。前号(COMPASS春号)で誤送信対策ソフト「GUARDIAN Correct Mail(ガーディアンコレクトメール)」を紹介したが、このASPサービス版が新たにスタートした。



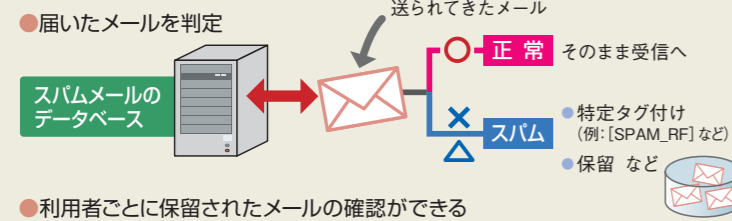
も軽減できるに違いない。

メールサーバーを自社運用する企業はもとより、プロバイダーを利用していても利用できる。社内に特別な設備を持たず使える「セキュリティASPサービス」で、メールの「困った」を解消しよう。

## 「セキュリティASPサービス」から2サービスをピックアップ!

### 迷惑なメールを区別する!

#### 「アンチスパムASPサービス」



●利用者に保留されたメールの確認ができる

#### 利用料金

ゴールドサービスの場合  
1ユーザーあたり  
月額200円  
(100ユーザーから)  
※他に50ユーザーからの  
シルバーサービス等もある

サービス名	月額料金	ユーザー数
ゴールドサービス	200円	100名まで
シルバーサービス	100円	50名まで
ブロンズサービス	50円	25名まで

### 送信後に再確認できる

#### 「メール誤送信対策ASPサービス」

- 送信メールをサービスセンターに一旦保留して確認時間を確保  
保留時間はユーザーが任意に設定できる
- メールの重要度に応じて4つの確認方法が選べる
  - ①保留メールの「自己確認」
  - ②社内同報者による「関係者確認」
  - ③上長の承認を受けて送信する「上長査閲確認」
  - ④社内ルールに反したメールを削除する「メールフィルタリング機能」  
\*最短2週間で導入可能



●利用料金 1ユーザーあたり 月額250円 (10ユーザーから)  
いずれも、オプションでアンチウイルス対策サービスも利用可能

本サービスでは、送信メールをすぐに相手に送らず、一定時間キヤノンITソリューションズのサーバーで保留する。この間に再確認が行えるのだ。メールの重要度に応じて本人、または同僚、上長などによるチェック体制を作ること、ミスの発見率を高められる。メールは送った直後に「しまった!」と気づくことが多いから、確認時間を得ることで送信者の心理負担も会社のリスク

**お問い合わせ先**  
キヤノンITソリューションズ株式会社  
東京都港区三田 3-11-28  
セキュリティソリューション事業部  
URL: <http://canon-its.jp/>  
電話: 03-5730-7287

情報セキュリティ  
メールセキュリティ対策サービス